



子育てひろばだより

9月号

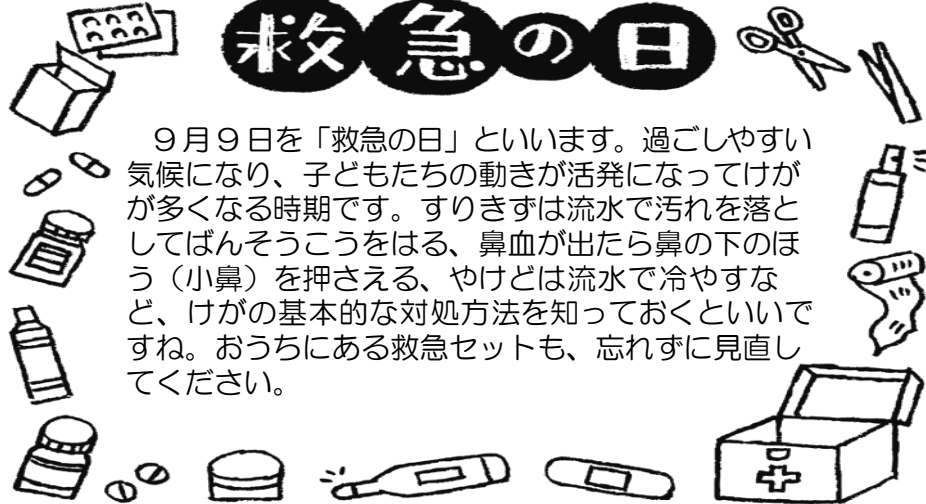


令和3年8月31日
社会福祉法人えどがわ
西小岩おひさま保育園

今年は連日暑い日が続き、全国的に体温より高い気温の日もありましたね。まだまだ残暑が厳しい毎日ですが、朝夕日ごとに少しずつ涼しくになり、秋の気配を感じますね。



救急の日



9月9日を「救急の日」といいます。過ごしやすい気候になり、子どもたちの動きが活発になってけがが多くなる時期です。すりきずは流水で汚れを落としてばんそうこうをはる、鼻血が出たら鼻の下のほう（小鼻）を押さえる、やけどは流水で冷やすなど、けがの基本的な対処方法を知っておくといいですね。おうちにある救急セットも、忘れずに見直してください。

※新型コロナウイルス感染症が終息し次第
開催いたします。

(1)ちよち ちよち



(2)あわわ



(3)かいぐり かいぐり



(4)とっとのめ



(5)おつむ てんてん



(6)ひじ ぼんぼん



☆手遊び☆

【ちよち ちよち あわわ】

最初はお子さんの手を動かしてあげながら遊び、慣れてきたら対面して一緒に楽しんでみてください。

《手遊びについて・・・効果は？発達にいいの？》

～ママの表情や声が大切～

乳児はママの大きな表情や擬音語が大好きです。手遊び歌をやるときは、ママが演じるような気持ちで、大きな手のしゅさをしながら、出てくる動物や人物になりきった声で歌ってあげると、きっと喜びますよ。

～運動能力がつく～

手遊びというと、手だけを動かすイメージがありますが、腕全体や上半身を動かすものもたくさんあります。大人にとっては簡単な手遊びの動きも、乳児にとっては立派な運動に。運動能力の発達にもつながるはずですよ。

～脳の発達につながる～

手を動かすと脳が活性化されます。個人差はありますが、1歳6ヶ月ごろになるとママの手の動きを真似して、少しずつ音楽に合わせて手を動かせるようになってくるので、脳の発達にも効果が期待できますよ。